

# 産業情報学科

## 《 経営情報 コース 》

平澤 賢一（ヒラサワ ケンイチ）

教授

【講座リストNo.25,26,27】

専門分野：経営学（国際経営論・人的資源管理論）

ここ数年は、上場企業のIR（投資家向け広報）部門に関する調査研究に取り組んでいます。外資系企業のマネジメントについても、並行して調査研究を続けています。「障害者雇用」については、15年以上、ゼミの学生たちと調査研究をしており、近年は、ダイバーシティ・マネジメントという括りで考察しています。また、本学では、進路指導に比較的長く携わって参りましたが、リーマンショックの頃からキャリア教育の分野にも関心の幅を広げております。



中澤 真（ナカザワ マコト）

教授

【講座リストNo.18,19,20,21,

22,23,24】

専門分野：人工知能、教育工学、ビッグデータ分析

鉄腕アトムやドラえもんのように、自ら学習するような機械を作りたいというところから私の研究は出発しました。この人工知能と呼ばれる研究領域は、迷惑メールを自動判別したり、人の嗜好を推定してその人の好みに適した商品を推薦するサービスなど、現在のインターネットやWebサービスに欠かせない技術となっています。近年の私はこれらの応用事例に加えて、人工知能の技術を教育分野へと応用する研究に取り組んでいます。



木谷 耕平（キヤ コウヘイ）

准教授

【講座リストNo.6,7,8】

専門分野：経済学（財政学、地域経済学、幸福の経済学）

政府の債務がなぜ蓄積するのかに関心を持ち、幸福度や生活満足度などの主観的なデータを使って、人々の財政への好みや認識を研究しています。かつては政府系機関で、発展途上国が政府債務を返済できるのかを分析する仕事に携わっていました。また、北海道の地方都市で商工会議所による地域活性化策の策定などに関わった経験から、地方の人口減少やその対応策にも強い関心があります。最近では、地方から大都市圏への人口移動要因について研究しています。



大橋 良生（オオハシ ヨシタカ）

准教授

【講座リストNo.28,29】

専門分野：会計学（財務会計）

近年、企業が作成する会計情報（財務諸表）の重要性が認識されてきています。財務諸表は様々な利害関係者（一般投資家や債権者など）によって利用されていますが、財務諸表がどのようにして作られているのか（作られるべきなのか）、そして、どのように使われているのかについて研究しています。特に、株主にとって純資産（資本）の情報がどのような影響を持つのかということについて実証的なアプローチを用いて研究を行っています。



八木橋 彰（ヤギハシ アキラ）

准教授

【講座リストNo.10,11,30,31,32】

専門分野：マーケティング論、流通論、消費者行動論

地方創生・地域活性化を大きなテーマに掲げて研究をしています。買物弱者問題、流通問題、中心市街地活性化などを中心に扱っていますが、最近では、地域資源の効果的なブランディング方法やスポーツ・ツーリズムやeスポーツなどのスポーツを起点とした地方創生・地域活性化についても研究対象としています。

# 産業情報学科

## 《 デザイン情報 コース 》



**井波 純 (イナミ ジュン)**

教授

【講座リストNo.49,50,51】

専門分野：漆芸

漆を用いた造形表現を中心に、広くものづくりについて研究しています。デザインについて学んだ後、漆器産地での徒弟制度の中で修行し年季明けしました。その後東京芸術大学大学院に進み、日本の木地轆轤文化、アジアの漆文化について広く研究してきました。日本の中で特有の発展を遂げてきた漆文化は、近年、高級感や取り扱いの面倒さなど難しくとられがちですが、そう遠くない昔、日本人のもっとも身近な素材であった事を伝えながら、生活の中で活かせる漆文化を育てていきたいと思っています。



**柴崎 恭秀 (シバサキ ヤスヒデ)**

教授

【講座リストNo.34,35】

専門分野：建築・都市計画、アート計画

県産杉間伐材を活用した住宅デザインや遊具、環境装置等のデザイン・製作を続けてきました。東日本大震災では福島県で供給した木造応急仮設住宅の総括アドバイザーを務め、また、震災によって全壊した蔵を美術館・ギャラリーに再生する活動や商店街の修景、会津若松市の景観形成等にも取り組んでいます。昨年は全国高専デザコン2019審査員長を務めました。建築デザイン、再生保存や景観デザイン等、研究領域を展開していきたいと考えています。



**高橋 延昌 (タカハシ ノブマサ)**

教授

【講座リストNo.36,37】

専門分野：グラフィックデザイン、デザイン教育

本来の専門はグラフィックデザインですが、「デザイン教育」として学生達と一緒に実社会と関わり、地域に根ざした活動も幅広くおこなっています。最近では奥会津地域・只見線沿線を対象に、首都圏の大学生等と一緒に研究しています。所属学会は日本基礎造形学会（事務局長）、日本色彩教育研究会（理事）、日本デザイン学会（正会員）です。福島大学人間発達文化学類の非常勤講師も務めています。



**横尾 誠 (ヨコオ マコト)**

准教授

【講座リストNo.38,39】

専門分野：インターフェースデザイン

近年様々な形態と機能で登場する情報端末ですが、それらを用いたWebコンテンツの活用方法について研究しています。また、アイトラッキング装置を入力デバイスとして活用したインターフェースデザインの研究を行っています。



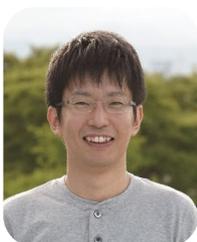
**沈 得正 (シム テークトン)**

講師

【講座リストNo.40,41,42】

専門分野：プロダクトデザイン、感性価値デザイン

大学時代ではモノの造形、機能、使いやすさなどに関するプロダクトデザイン要素について学んできました。大学院からは、人々の感覚的特性に着目した感性価値デザインについて研究しています。主に染色や凹凸模様に着目した竹材・木材の有効利用に関する研究を行い、デザインへの活用方法に取り組んでいます。これからは、会津地域に視野を入れ、地域の特性に合わせた商品のデザイン・開発を展開して行きたいと思っています。



**北本 雅久 (キタモト ガク)**

講師

【講座リストNo.43,44,45】

専門分野：グラフィックデザイン

これまでグラフィックデザイナー、美術館学芸員として様々な造形活動に携わってきました。現在はポスター表現を軸としてグラフィックデザインの制作研究をしています。多くの方が、グラフィックデザインに興味を持ってもらえる楽しいプログラムを実施します！

# 食物栄養学科



左 一八 (ヒダリ カズヤ)

教授

【講座リストNo.52】

専門分野：生化学、糖鎖生物学、ウイルス学

これまで、生物がもつ糖質の構造と機能について研究を行ってきました。糖質は生体にとって必須のエネルギーになるばかりでなく、細胞と細胞間のコミュニケーションに利用されたり、病原微生物の体の中への侵入の目印として利用されたりなど多彩な生物現象に関わることがわかってきています。食品に含まれる機能性糖質成分の構造と生体内での利用について興味を持っています。

宮下 朋子 (ミヤシタ トモコ)

教授

【講座リストNo.73,74,99】

専門分野：調理科学

・減塩、特に乳幼児期の減塩について研究しています。

・食品に気泡を均一に分散させると、テクスチャーが変化し、嗜好性が向上します。この性質を利用して、攪拌して気泡を含有させた自然薯を食品に混入させ、高齢者に多い嚥下障害に適應できる嗜好性の高い気泡含有食品を研究しています。

また、高齢者に多い誤嚥性肺炎を予防するため、とろみ剤やゲル化剤を用いた嚥下食を障害の程度に合わせた物性に仕上げるための調製方法について検討しています。



鈴木 秀子 (スズキ ヒデコ)

教授

【講座リストNo.53,54,55,56】

専門分野：公衆栄養、栄養教育・指導

皆さんは楽しく食べていますか？生涯にわたり楽しくおいしく健康に「食べる」を目指して、幼稚園や保育所、学校においてどのような食育を進めたらよいのか研究したり、子どもたちを対象としたパペットやBig絵本を使った楽しい食育活動を実践しています。また、地域力の再生の担い手としての地域組織（食生活改善）の育成支援をどのように進めたらよいのか研究しています。



武井 利之 (タケイ トシユキ)

准教授

【講座リストNo.57】

専門分野：糖化学、林産化学、食品機能

これまで、マングローブ胎生種子の細胞壁構成多糖類、きのこの糖成分と食品機能性成分、法隆寺古材の非破壊分析、及びきのこや樹木の放射性物質吸収抑制等に関して研究してきました。これら多岐にわたる研究で用いた技術を活用して、地域の農産物やきのこ・山菜類等の食品の成分や機能性に関する研究を進めたいと思います。



漆谷 博志 (ウルシタニ ヒロシ)

准教授

【講座リストNo.58,59】

専門分野：比較内分泌学、分子生物学

現在まで、主にホルモンや、ホルモンに似た働きをする物質である、いわゆる“環境ホルモン”の生物に対する影響や、どのようにして影響を及ぼすのかについて、魚や貝などの水棲動物を用いて研究を行ってきました。生命と環境の関わりについて、特に生殖に関して興味を持っています。



加藤 亮 (カトウ マコト)

講師

【講座リストNo.60,75,76】

専門分野：栄養教育、公衆栄養、食事調査

これまで、保健センター、大学病院等で糖尿病や脂質異常症、肥満などの対象者に栄養指導を実施し、主に地域で行われている保健活動のプログラム開発や評価方法を検討してきました。現在はICタグとフードモデル、PCを組み合わせた新しい栄養指導ツールの開発や加速度計を使った身体活動量の把握と評価に関する研究を行っています。誰もが「おいしい、楽しい、バランスのよい」食生活をおくれるように手助けする方法を研究中です。

# 食物栄養学科



**小林 未希 (コバヤシ ミキ)**

**講師**

【講座リストNo.77,78】

専門分野：給食経営管理

食材に含まれる放射性セシウム量が調理工程でどの程度低減するのか、また、より低減する調理方法について研究してきました。現在は、トレハロースを大量調理へ導入することについて関心を持っています。トレハロースは、澱粉老化・たんぱく質凝固・脂質の酸化および褐変等の抑制効果が高いため様々な食品に利用されています。栄養士としての実務経験を活かし、より品質の高い給食提供へ向けた大量調理法について検討しています。



**阿部 桂子 (アベ ケイコ)**

**助手**

【講座リストNo.12,79,80】

専門分野：給食管理

2021年より第4次食育推進計画が開始されました。重点事項の1つとして、持続可能な食を支える食育の推進が掲げられています。健全な食生活の基盤として持続可能な環境が不可欠であり、食育においても食を支える環境の持続に資する取組を推進することが重要です。昨年から実際に畑を耕し、生産の現場である農と食、地域との関わり、それらを取り巻く様々な課題について解決方法を探っています。「食と環境との調和」「農林水産業や農山漁村を支える多様な主体とのつながりの深化」「和食文化の保護・継承」を通じて、持続可能な食を支える食育を推進します。



**水尾 和雅 (ミズオ カズマサ)**

**助手**

【講座リストNo.81】

専門分野：調理学

これまで、加熱調理器の違いが食品へ及ぼす影響などを研究してきました。現在はシフォンケーキの様なフワフワした菓子の物性に副材料がどのように影響するのかを検討しています。これからも調理に関係する事柄について研究を進めていきたいと考えています。何事も難しく考えず、楽しく考えることをモットーに頑張っていきます。

# 幼児教育学科



市川 和彦 (イチカワ カズヒコ)

教授

【講座リストNo.89,90,91,92,93】

専門分野：障がい者福祉、障がい児保育、発達障害幼児療育法

知的障がい者施設、知的障がい児施設、児童養護施設での援助職の経験から、専門職者による利用者児への虐待の問題に取り組んできました。現在は援助者が虐待に至る一要因としての利用者児からの暴力、他傷をどう理解するかとともに、予防、対処のための具体的スキル構築に向けて取り組んでいます。現場の方々にぜひ協力いただき、この課題について共に取り組んでいきたいと願っています。



郭 小蘭 (カク ショウラン)

教授

【講座リストNo.100】

専門分野：保育実践、心理臨床、子育て

幼児教育現場で実践されているごっこ遊びについて調べて研究しています。また、子どもの遊び意欲を惹きつける手作り遊具の研究もしています。



河原田 潤 (カワラダ ジュン)

教授

【講座リストNo.101,102,119】

専門分野：音楽、器楽合奏、子どもの音楽

保育現場に関わる「音楽」が専門分野です。特に現在も活動中のコントラバス奏者として、オーケストラ・室内楽等の職業演奏活動を通じて得た経験や技術を生かして、保育現場で用いられる楽器の扱い方や、楽器を使った合奏等の表現活動について研究をしています。



若林 達司 (ワカバヤシ タツジ)

教授

【講座リストNo.120,121】

専門分野：英語文学、英語教育

大学入試センター試験が大きく変わり、2021年1月には大学入学共通テストが始まりました。それに伴って外国語（英語）では聞く、話す、読む、書くといういわゆる4技能を測定する民間試験が導入されることが決まっています。これから何をどんな風に勉強したらいいのでしょうか。大学で英語教育に長く携わってきた経験から、この派遣講座では英語のこと、語学学習のことをワークショップ（その場で実際にトレーニングする！）を交えながらお話したいと思います。



木村 淳也 (キムラ ジュンヤ)

准教授

【講座リストNo.94,95】

専門分野：ソーシャルワーク

大学卒業後、会社員から特別養護老人ホームの介護職員へ転身しました。特別養護老人ホームでは、介護職員と生活相談員を経験しました。その後、専門学校、大学において介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパー等の養成教育を経験したのち、本学に着任しました。

現在は、震災復興に関連する生活支援相談員の支援や学校福祉領域におけるスクールソーシャルワーカースーパーバイザーを中心に活動しています。



久保 美由紀 (クボ ミユキ)

准教授

【講座リストNo.96,97】

専門分野：地域福祉、高齢者福祉

高齢期に自分自身が暮らし続けたいと思う地域で、暮らし続けることは特別なことでしょうか。これまでに関わってきた高齢者の生活実態調査からは、多くの高齢者が暮らし続けたいとの思いを持ちながらも、さまざまな要因から、地域で暮らし続けることを阻害されている実態があることを見てきました。このことから、誰もが地域で主体的な生活を継続していくことを可能とするための社会福祉のあり方や役割について研究をしています。

# 幼児教育学科

**吉田 亜矢 (ヨシダ アヤ)**

**講師**

【講座リストNo.103,104,105】

専門分野：幼児教育学 保育相談 子育て支援

乳幼児の発達と家庭環境および母親のかかわりとの関連等、子育て支援に関する研究を行っています。

幼稚園、小学校のスクールカウンセラーとしての心理臨床経験および保育者としての保育実務経験をもとに保育・教育相談、子育て相談を行います。

**渡部 琢也 (ワタナベ タクヤ)**

**講師**

【講座リストNo.62,63,106,107,

108,109】

専門分野：運動生理学、発育発達学、トレーニング科学、スポーツ科学

幼児期および児童期の体力・運動能力について研究を行っています。愛知県教育委員会子どもの体力向上支援委員会委員として「小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動(遊び)」を作成し講習会を実施しました。硬式野球や女子サッカーのコーチそして幼児、児童を対象とした子どもの教室にて実技指導も行っていました。また、市町村の介護予防教室の実施及びコーディネートを実践してきました。最近は子どもから高齢者の筋肉量の測定をし、健康寿命延伸について、市町村や企業、教育委員会や学校とも連携して研究を深めています。



**葉山 亮三 (ハヤマ リョウゾウ)**

**講師**

【講座リストNo.2,110,111,112,】

113,114,115,116,117,118】

専門分野：造形教育

美術研究所こども教室に11年勤め、また美術館などのワークショップ講師を経験し、こども達との造形を研究してきました。造形教育はこどもとともに作り、進めて行くものと考えています。こどもとともに発見したり、感動したりしながらものを表現する楽しさ、表現する術を身につけて、心豊かな感性を育てていきます。



**高田 正哉 (タカタ マサヤ)**

**講師**

【講座リストNo.125,126,127,

128,129,130】

専門分野：教育学、教育哲学、教育理論、教育学研究法

学校教育だけでなく、幼児教育、高等教育、生涯学習でも人びとは学び、生涯を通じて学びを継続していく社会となりました。そのような社会では、小中学校・高等学校・大学ばかりでなく、図書館、美術館、博物館、公民館といった社会教育施設をはじめ、書店やカフェ、コワーキングスペースなどのサードプレイスの重要性がますます周知されています。私はアメリカ、カナダの「学び」の歴史と思想を手がかりに、よりよい「学び」のあり方を構想し、研究者だけでなく市民や団体との対話のなかで、よりよい「学び」の未来を構想しています。



# 特任研究員



**時野谷 茂 (トキノヤ シゲル)**

**特任研究員** 【講座リストNo.46】

専門分野：建築デザイン、都市デザイン、製品デザイン

学部では主に建築デザインを学び大学院では日本近代建築史を学んで近代建築の保存再利用について研究しそれを実社会で生かすために会社を作り、建築設計、近代建築の調査、保存活用計画並びに設計を行っています。会津に来てからは会津若松市の景観審議会委員や周辺市町村の住宅マスタープラン関係の委員を務め、都市景観や町づくりに関する研究も進めています。また製品デザインも守備範囲です。



**牧田 和久 (マキタ マサヒサ)**

**特任研究員** 【講座リストNo.13,47,48】

専門分野：室内計画、建築計画、住環境計画

室内計画や住環境計画を中心に、住生活と人間工学、住宅機器や家具類の商品企画、住まいの安全や住まい方などのインテリアデザインに関わる諸問題から、都市景観やまちづくりなどといった広範な地域の課題について興味を持ち研究してきました。最近では、住生活と住宅政策、中心市街地や中山間地域の活性化やまちづくり、空き家問題とその利活用などについて研究しています。



**森 文雄 (モリ フミオ)**

**特任研究員** 【講座リストNo.14,15,16,17,33,64,65,66】

専門分野：マーケティング、地域経営論、観光学、農業経済学、生涯学習論

マーケティングをベースにして、中山間地域農山村問題、地場産業、中心市街地、地域ブランド、ニューツーリズムなどをキーワードにした地域経済の活性化について調査研究をしています。2009年からは、中山間地域集落の持続可能性を強化する目的で棚田オーナー制度の提案と実施を会津5地域で実施しています。加えてグローバル経済化時代及び人生百年時代に通用する地域資源を活用した内発的發展や健康経営による地域活性化について研究しています。



**安江 俊二 (ヤスエ シュンジ)**

**特任研究員** 【講座リストNo.67,68,69,70,71】

専門分野：生化学および運動生理・生化学

研究内容は、基礎的な研究として、身体の中の代謝の仕組みや酵素の働きなどの生命現象を生化学的に研究しています。応用面では、メタボリックシンドロームや生活習慣病、がん、フレイル等を予防し健康を増進するための方法について研究しています。特に、内臓肥満の予防と改善について、運動と代謝の観点から研究しています。最近、「老化と寿命」のメカニズムと対策についても研究しています。



**眞鍋 久 (マナベ ヒサシ)**

**特任研究員** 【講座リストNo.72,82,83,84,85,86,87,88,122,123】

専門分野：食物科学、植物栄養学

大学および大学院で「農芸化学」を学ぶ。卒論は「光合成細菌の脂肪酸代謝」を研究テーマとし、修論および博論では「水稲(イネ)におけるD-アミノ酸の代謝」について取りまとめる。その後、栄養士養成施設、農学部および農学研究科、管理栄養士養成施設の教員として専門領域の教育・研究にあたる。出前講座(高校(母校))および教養講座(社会福祉事業団)を担当。派遣講座のテーマは次のとおり。「食と健康」「大豆の魅力」「作物のもたらす栄養成分」「果物の効用」「D-アミノ酸と食物」「呼吸と発酵」「発酵食品の魅力」「水あめのおはなし」「地表における食物成分の循環」「食べ物の栄養素を化学の目でとらえてみませんか。」



**石光 真 (イシミツ マコト)**

**特任研究員** 【講座リストNo.9,98,124】

専門分野：経済学(電力経済、社会保障財政)

震災以降、各種発電の技術的・経済的優劣を研究してきました。ゼミでは震災以来学生の電力経済の研究を指導してきました。